観光学特論 II

科目ナンバリング　TPA-203
選択　　2単位

野澤　丈二

1. 授業の概要（ねらい）

「人はなぜいま食べているものを食べているのか」。

この授業では、人文社会科学（経済学、歴史学、社会学、文化人類学、文学など）におけるさまざまな考え方を参考にしながら、人間の食行動について、その多様な動機について一緒に考えていきます。

観光や旅行においても、食行動には多くの選択肢があるにもかかわらず、なぜ特定の時間・場所・仲間（人数）・食材・料理などを選ぶのでしょうか。こうした疑問について改めて考えてみることは、人間や社会の本質を知ることにも繋がります。

2. 授業の到達目標

① 毎回の授業で取り上げる概念や理論を、自分の言葉で簡単に説明できる。
② 人間の食行動の背景にあるさまざまな動機を知る。
③ 日常生活や旅先での食行動について、その理由の可能性を検討できる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点（40点）：① 授業内課題、② 授業への参加、③ 出席状況など
中間課題（30点）
期末レポート（30点）

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しません。必要に応じて、授業時に配布します。

参考文献

山下晋司編　『観光学キーワード』（有斐閣、2011年）
安井大輔編　『フードスタディーズ・ガイドブック』（ナカニシヤ出版、2019年）
中村忠司編　『人はなぜ食を求めて旅に出るのか：フード・ツーリズム入門』（晃洋書房、2022年）

5. 準備学修の内容

毎日の食生活のなかで「なぜこれを食べているのだろう、なぜこれを飲んでいるのだろう」ということについて、少しだけ理屈っぽく考えてみてください。

普段活用しているメディア（インターネット、SNS、新聞・雑誌など）で紹介されている食に関する情報や新刊図書などに目を配り、どのようなテーマが話題になっているかを意識するよう心がけてください。

6. その他履修上の注意事項

各回テーマに関する文献リストの詳細は、適宜授業内で指示します。

以下の授業内容や順番は、履修者数などに応じて、一部変更になる可能性もあります。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション
【第2回】　自分の食行動について考える【オンライン（LMSによるオンデマンド形式）】
【第3回】　経済学の視点
【第4回】　地理学の視点
【第5回】　歴史学の視点
【第6回】　ドキュメンタリーの鑑賞
【第7回】　公共圏
【第8回】　顕示的消費
【第9回】　文化資本
【第10回】　宗教と禁忌（タブー）
【第11回】　ジェンダー
【第12回】　拒食と過食
【第13回】　メディアと視覚情報
【第14回】　日常性
【第15回】　なぜ食べているものを食べているのか?